

2023年3月31日

三井住友信託銀行との 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の 契約締結について

株式会社丸井グループ（本社：東京都中野区、代表取締役社長：青井 浩、以下丸井グループ）は、三井住友信託銀行株式会社（本社：東京都千代田区、取締役社長：大山 一也、以下三井住友信託銀行）と「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の融資契約（以下本契約）を締結いたしました。

■ 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の概要

企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、当該活動を継続的に支援することを目的とした融資です。企業の活動、製品、サービスによる SDGs 達成への貢献度合いを評価指標として活用し、開示情報に基づきモニタリングを行い、エンゲージメントを通じて活動を支援していくことが最大の特徴です。

本契約は、国連環境計画・金融イニシアティブ（以下「UNEP FI」）（※1）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」（※2）に則した「ポジティブ・インパクト評価（資金用途を限定しない事業会社向け投融資タイプ）」（以下本評価）に基づくものです。


また、株式会社日本格付研究所（本社：東京都中央区、代表取締役社長：高木 祥吉）より、評価にかかる手続きのポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性について第三者意見（※3）を取得しています。





■ 本評価の概要

本契約締結にあたり、丸井グループが SDGs 達成において特にインパクトを与える活動として、「脱炭素社会や循環型社会を実現し、地球と共存する持続可能な未来を将来世代につなげる取り組み」、また「収入や年代を問わず、すべての人に必要な金融サービスを提供するファイナンシャル・インクルージョンの実現をめざす取り組み」、さらには「“人の成長＝企業の成長”という経営理念に基づき、社員一人ひとりがイキイキと成長し続けられる企業文化の醸成をめざす取り組み」に関し、三井住友信託銀行より評価を得ております。

丸井グループは今後も、ダイバーシティ&インクルージョンを核としたサステナビリティ経営を通じ、中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

丸井グループが SDGs 達成に対しインパクトを与える以下のテーマについて、三井住友信託銀行より定性的、定量的に評価を受けています。

テーマ	内容	目標と指標 (KPI)	SDGs
地球と共存する持続可能な未来	脱炭素社会や循環型社会を実現し、地球と共存する持続可能な未来を将来世代につなげる。	<p><u>(a) CO₂排出量の削減への貢献</u></p> <p>目標 グループ全体の CO₂排出削減量を 2025 年度までに 100 万 t 以上 (2016 年度比)</p> <p>指標 (KPI) グループ全体の CO₂排出削減量(みんな電力エポスプラン利用等、丸井グループがお客さまに再生可能エネルギー利用切り替えを推進した削減量を含む)</p> <p><u>(b) グループ全体の温室効果ガス排出量 (Scope 1、2) の削減</u></p> <p>目標 グループ全体の温室効果ガス排出量 (Scope 1、2) の削減 (2016 年度比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2025 年までに 35%削減 ・ 2030 年までに 80%削減 ・ 2050 年までに 90%削減 <p>指標 (KPI) グループ全体の温室効果ガス排出量 (Scope 1、2)</p> <p><u>(c) 温室効果ガス排出量 (Scope 3) の削減</u></p> <p>目標 温室効果ガス排出量 (Scope 3) を 2030 年までに 35%以上削減 (2016 年度比)</p> <p>指標 (KPI) 温室効果ガス排出量 (Scope 3 : 該当がないカテゴリー 10 および 14 を除く全 13 カテゴリー)</p>	  

		<p><u>(d) 再生可能エネルギー比率の向上</u></p> <p>目標 再生可能エネルギー比率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2025年度までに70%達成 ・ 2030年度までに100%達成 <p>指標 (KPI) 再生可能エネルギー比率 (再生可能エネルギー由来の電力量÷グループ全体の電力使用量)</p> <p><u>(e) 資源リサイクル率の向上</u></p> <p>目標 資源リサイクル率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2025年度までに75%達成 ・ 2030年度までに80%達成 ・ 2050年度までに100%達成 <p>指標 (KPI) 資源リサイクル率 (廃棄物回収量÷グループ全体の廃棄物排出量)</p>	
<p>信用の共創に基づく金融サービス提供</p>	<p>収入や年代を問わず、すべての人が必要な時に必要なサービスを受けることができるファイナンシャル・インクルージョンの実現をめざす。</p>	<p><u>(a) 投資を通じたファイナンシャル・インクルージョンの展開</u></p> <p>目標 投資を通じた金融サービス提供国数の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2025年度までに世界10カ国以上 ・ 2030年度までに世界20カ国以上 <p>指標 (KPI) 投資を通じた金融サービス提供国数</p> <p><u>(b) 世界の人々への金融サービス提供拡大</u></p> <p>目標 金融サービス提供人数の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2050年度までに1,000万人以上 <p>指標 (KPI) 金融サービス提供人数</p>	 
<p>人の成長＝企業の成長</p>	<p>企業理念「人の成長＝企業の成長」に基づき、社員一人ひとりがイキイキと成長し続けられる企業文化の醸成をめざす。</p>	<p><u>(a) 人的資本投資額の拡大</u></p> <p>目標 人的資本投資額を2025年度120億円まで拡大</p>	 

		指標 (KPI) 人的資本投資額 <u>(b) 女性リーダー比率の向上</u> 目標 女性リーダー比率を2025年度までに40%達成 指標 (KPI) 女性リーダー比率 (次期マネジメント層 (係長・主任相当) における女性の割合) <u>(c) 男性の育休取得率100%の維持</u> 目標 男性の育休取得率100%の維持 指標 (KPI) 男性の育休取得率 <u>(d) 男性の産休取得率 (8週以内) の向上</u> 目標 男性の産休取得率 (8週以内) を2025年度までに80%達成 指標 (KPI) 男性の産休取得率 (8週以内)	
--	--	---	--

(※1) 国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI)

国連環境計画 (UNEP) は、1972年に「人間環境宣言」および「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関。UNEP FI は、UNEP と200以上の世界の金融機関による広範で緊密なパートナーシップであり、1992年の設立以来、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的発展とESG (環境・社会・企業統治) への配慮を統合した金融システムへの転換を進めています。

(※2) ポジティブ・インパクト金融原則

UNEP FI が2017年1月に策定した、SDGs (持続可能な開発目標) の達成に向けた金融の枠組。企業がSDGs 達成への貢献をKPI で開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導くもの。

融資を実行する銀行は、責任ある金融機関として、指標をモニタリングすることによって、インパクトが継続していることを確認します。

(※3) ポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性についての第三者意見

株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

■ 三井住友信託銀行の概要

商 号 : 株式会社三井住友信託銀行
本 社 所 在 地 : 〒100-8233 東京都千代田区丸の内1-4-1
代 表 電 話 : 03(3286)1111
U R L : <https://www.smtb.jp>
取 締 役 社 長 : 大山 一也

■ 日本格付研究所の概要

商 号 : 株式会社日本格付研究所
本 社 所 在 地 : 〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8時事通信ビル10F
代 表 電 話 : 03(3544)7011
U R L : <https://www.jcr.co.jp>
代表取締役社長 : 高木 祥吉

■ 丸井グループの概要

商 号 : 株式会社丸井グループ
本 社 所 在 地 : 〒164-8701 東京都中野区中野4-3-2
代 表 電 話 : 03(3384)0101 FAX 03(5343)6615
U R L : <https://www.0101maruigroup.co.jp>
代表取締役社長 : 青井 浩
おもな関連会社 : (株)エポスカード、(株)丸井、(株)エムアンドシーシステム ほか